



## 國分 功一郎 准教授

### 【こくぶん こういちろう】

1974年生まれ。千葉県出身。2008年4月より経済学部講師。専門は、17世紀哲学、フランス現代思想。東京大学博士(学術)。著書に『スピノザの方法』(みすず書房、2011年)。「暇と退屈の倫理学」(朝日出版社、2011年)。

- 倫理学
- 現代社会哲学
- 学問研究入門
- 哲学入門
- 哲学

## 哲学は難しいか

### 研究テーマについて

専門は哲学です。特にフランスの現代哲学を研究しながら、現代社会の中で我々がどう生きていくべきかについて考えています。

よく学生の皆さんから「哲学は難しそう」と言われます。もちろん哲学は簡単でも単純でもありません。ですが、それは「役に立たない」ということではありません。哲学は概念を使ってものを考えていきますが、この概念というのは私たちのものの見方を変え、新しいものを発見させてくれます。

例を挙げてみましょう。パスカルという哲学者が「気晴らし」について語っています。人間は気晴らしを求める。なぜなら人間は部屋の中で一人でじっとしていることができないからだ……。これだけのことから実に多くのことが考えられます。なぜじっとしてられないのか？ それは人間が何か余計なエネルギーを抱えているからです。人間はそれを消費しなければならない。気晴らしはそのためのものですが、その目的は余計なエネルギーを使い切ることなので、気晴らしとして行われることは実際には何でもよいことになる。我々が「これが好きだ」と思ってやっていることも、実は単なる気晴らしかもしれない。でも、なぜ私はこれを「好きだ」と思うのだろうか？ 何かを好きであるとはどういうことだろうか？ 「気晴らし」の概念は我々に実に多くの問題を提起します。哲学は概念をもとにして様々な問題について考えていくのです。

### 担当科目について

担当の授業は、様々な哲学者の考えを紹介しながら、一つのテーマを追求するという仕方で行っています。最近では、暇と退屈、戦争といったテーマを取り上げています。

### ゼミの内容について

ゼミは哲学の原典を精読することに主眼を置いています。本を読みながら、概念でものを考えていく訓練をしていきます。また、就職支援にも力を入れています。哲学の訓練は実社会でも様々な場面で役に立ちます。何かを理解し、説明するにあたっては概念が大きな役割を果たすからです。「哲学のゼミなのに就職がいい」のではなく、「哲学のゼミだから就職がいい」、そんなゼミを目指しています。

高経のガリレオこと國分先生をはじめ、個性あふれるメンバーが揃っている國分ゼミ。ゼミは哲学書の輪読と、各自の研究課題に関するプレゼンという形式で行われています。哲学が好きなら、じっくりもの考えてみたいひとはぜひうちのゼミへ！

國分ゼミ1期生 ゼミ長

ゼミ生のひとこと

